

恵みと真理のニュース



2012年12月の二次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養5洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



【証】 私を変えてくれた親の祈りと神様の愛に感謝します。

まず、証を述べるようにしてくださった神様に感謝します。私は今年22歳、神様に愛されている健康な青年です。私は小さいときからお母さんと一緒に教会に通いました。幼児部、初等部を通いながら、お母さんと神様を信じない近所の人々に教会の新聞を渡したり、教会の掃除をしたりしました。その時は親が言っているどおりに純粋な心でまじめに生活しました。しかし、中学生になってから誰も知らないうちに私は変わっていききました。自分が変わっていることに気付かずに同じクラスの友達をいじめたり、先生に反抗したりしました。そして不良な友達の仲間に入りました。あつという間に純粋でまじめだった私自身はいなくなってしまうのです。思春期過ぎごろのことです。はっきりした理由もなく反抗的で不良な姿の新しい自分になっていました。勉強が嫌で、親の話を書くことも嫌でした。さらに、教会に行くこともとても嫌いになって私は変わっていたのです。時間が過ぎて中学校3年生の終わりごろ、産業高校か、人文高校か、私は高校進学の際路にたっていました。私は産業高校を志望しましたが落ちてしまいました。しかし、人文高校進学の連合試験を受けるまで約3週間しか残っていませんでした。先生はアンサン(韓国の地名)にある高校を勧めましたが、お母さんはガチョン

(韓国の地名)にある高校に進学しようと言いました。結局、お母さんが話したどおり3週間頑張って勉強してガチョン(韓国の地名)にある人文高校に進学することができました。今でも当時、高校合格のお知らせで喜びながらお母さんと電話したときの思いが生々しいです。その喜びもちょっとだけでした。他学校の人たちと言い合いになって団体でケンカをしました。生まれて初めて警察に連れて行かれました。稚ない息子のせいで苦労していた親のことを考えると今も心が痛みます。幸いなことでケンカのこと無事に終了し、やっと高校に入学することができました。しかし、高校に進学した後もいろんな暴行事件に巻き込まれるなど、学校生活は坦々ではありませんでした。ある日、友達とボクシングジムに行きました。その日からボクシングに興味が出て勉強は置いていて、ボクシングを始めました。生まれて初めて何かのために頑張る努力をし、集中できたと思います。基本も知らない奴がアマチュア大会に行って賞をもらい、プロの選手とスパイリングでも負けないぐらい成長しました。その後、私は人生の大きなターニングポイント時期に入りました。とても好きだったボクシングを結局辞めることになったのです。それで高校3年生になって勉強への進路に変えました。そして勉強を始めて2年ぶりに大学生になりました。私のために涙を流しながら祈ってくれた親が一番喜びました。

私が彷徨していた間にも神様は私のことを忘れずに見守ってくださり、導いてくださったことを深く感じる事ができました。そしてたくさんの人を伝道して今年の5月1日に行われた区域長セミナーで当会長牧師先生から伝道賞をもらいました。とても嬉しくて感謝でした。教区長と区域のたくさんの人々から祝ってもらいました。今、彷徨していた時期の自分のことを照らしてみると、新しく変わっている私自身がとても嬉しくて誇らしいです。もちろん、これからやることも多く、はっきりした未来への確信はありません。しかし、たった一つ、確実なことは親の祈りと神様の導きがあったからこそ、長い彷徨の中でも、結局自分の居場所へ戻り、今の自分になったことです。そのため、今日も怠けずに主に私の未来を預かると、神様が私の道を導いてくださって私をおして栄光を受け取ってくださることを確認します。ただ、私は信仰と従順する心をもって自分のやるべきことのため最善を尽くしながら前に進みたいと思います。私の証は今でもまだ続いています。これからも親の祈りと主の愛が私と共にするため私の人生はこれからも成長します。いつかは、主の働き人として大きく用いられる人になることを固く信じます。私を子どもとしてください。恵みと愛を与えてくださる良き神様を声高く賛美します。



【信仰コラム】 感謝を積極的に表現しよう。

“あなたがたは、このように主キリストイエスを受け入れたのですから、……教えられたとおり信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい。(コロサイ2:6-7)”

人は坊やでない限り恵みと助けを受けたことに対してありがたい気持ちを持ちます。よくありがたいと思う人は肯定的な思考をもっている人であり、人間関係も円満なはずで、ありがたい気持ちを表現する態度にはその人の品格が現れるものであり、キリスト人の信仰状態を現すものです。聖書には“どんなことでも感謝しなさい。あふれるばかり感謝しなさい。感謝の言葉をしなさい。感謝する人になりなさい。”という命令が記録されています。したがって、私たちは積極的に感謝を表現すべきです。感謝する心を表す様々な表現について調べます。第一、“感謝します。ありがとうございます。”という言葉で感謝を表現します。長年キリスト教の影響を受けた人々の共通な現象は“感謝します。”という言葉が生活の中に馴染んでいて、くせになっているということです。感謝の表現も教育と訓練が必要です。いくら小さな助けでも、とてもありがたく思う気持ちが謙遜なのです。患者に人工呼吸機で酸素を供給する機械を使うことは高いお金がかかると思います。例えば、神様が空気中の酸素と太陽の光についてその使用料を我々に払わせたら誰がそ

の金額に耐えられますか。このように何なりなく使っているすべてが神様の恵みであり、プレゼントなのです。そのため“神様、感謝します。ありがとうございます。”という言葉がくせになっていないといけません。

第二、賛美をおして感謝を表現します。賛美は神様への感謝の歌です。神様に感謝する賛美をおして神様の力を体験することができます。賛美は神様の心を動かします。賛美はリズムのある感謝の表現だからです。

第三、私が持っているものを神様に捧げることによって感謝を表現します。使徒パウロがコリント教会に送った手紙の中で、信者たちは神様の恵みに感謝して、楽しく献金を捧げ、奉仕をすることによって得られる結果についてたくさん述べています。

“私はこう考えます。少しだけ蒔く者は、少しだけ刈り取り、豊かに蒔く者は、豊かに刈り取り、ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたどおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してください。神は、あなたがたを、常にすべてのことに満ちたりて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です。(Ⅱコリント9:6-8)” マリアが高価のナド香油を注いで主に感謝の気持ちを表したように、主に對する感謝の気持ちから湧き出る献身と奉仕は記念すべきことであると認めています。

第四、神様を信頼し、従順しながら感謝を表現すべきです。アブラハムは神様の命令を聞いてすぐ御言葉に従い故郷を去りました。また、一人息子のイサクを全燃として捧げなさいという神様の命令に従い、どうすればこの命令に上手く従順することができるのか考え、その後すぐに神様の命令を行動に移しました。とても素敵な信頼であり従順だったのです。神様の大きな恵みと愛を受けた私たちが感謝を表現する一番相応しい方法の一つは、神様の約束を徹底的に信頼し、神様の命令に従うことです。

第五、神様によって喜びながら感謝を表現すべきです。親は子どものため食べさせたり、着させたり勉強させたりなどの苦労をしています。子どもはこのような恵みを喜びで受け取ることが親に感謝する態度です。神様との関係でも同じです。神様が与えてくださったことによって人生を楽しむことは神様への感謝を表現することです。それよりもっと崇高な感謝は神様が生きておられるという事実によって喜ぶ態度です。“神様が永遠に私と共におられる。”ということが私たちの喜びのもとになるべきです。みなさんは感謝をたくさん、豊かに表現してください。誠にキリスト人らしい姿はどんなことでも感謝すること、その感謝が満ち溢れる生活をする事なのです。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム『緑の牧場、清い川』本の語り中」

感謝する事に成功者になりなさい



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

イエスキリストのダルラント比喻は主人が任せた財産を持って手まめに商売して財産を増殖したしもべたちとその財産を地に葬ったしもべに対する話です。商売して財産を増殖したしもべたちには主人が誉めて主人の楽しさにあずかりなさいと言いました。一方に主人の財産を地に葬ったしもべには峻厳に咎めて外暗いところで落ち込まれ悲しく泣きながら歯ぎしりするようになりました。そしてキリストがおっしゃるのを“持った者はもっと与えられてふんだんになるはずだが持つことができなかつた者はその持ったことさえ奪われるでしょう。”しました。神様は成功者を誉めて近づけてもっと多いことをくださる一方に失敗者を咎めて退けます。しかし皆さんが心配するまでもないです。神様が認める成功と言うのは誰も決心して行えば到達することができる性格の成功だからです。その中一つは感謝する事に成功者になるのです。感謝する事を成功的に遂行すれば非常に有益なことがよるようになります。

第一、感謝は心を豊かにさせます。

所有するものが多ければ心が豊かになるが豊かな心が所有物の大きさに比例することではないです。たくさん持っても心はせせこましい人が有り勝ちです。たとえ持ったのが少なくともそれによって神様に感謝すれば豊かな心になります。心が豊かならば他人に対する包容力が大きくなって他人をあわれんで思うことができるようになります。しかし競争社会で生きて行きながら豊かな心を持つのがあまりたやすい事ではないです。心を豊かにさせる一番卓越な方法があります。それは積極的に感謝を表現するのです。独り言で“ありがとうございます。”と言って見ればその効果がいくら早く現われるかを分かるようになるでしょう。大きく音を出してありがとうございます。と言えどもっと大きい効果を見るようになるでしょう。他人にも感謝しなければならぬがなによりも凡事に神様の父に感謝しなければなりません。

第二、感謝は人生を楽しみながら暮すようにします。

すべての人々は今日はストレスを耐えながらしかめて暮すが明日は楽しく暮すようになると思っています。しかし実は今日一日を楽しく暮すことができなければ明日の楽しいことは近付かないです。今日を楽しく暮すと言って働かないで趣味活動ばかりしなさいというのではないです。自信がするすべての事を感謝した心にしながら楽しく暮すことを言います。感謝は暗さを明らかにする電燈のようで感謝の電燈をつければ心が明るくなります。感謝は寒い日暖炉に立てた火のようです。感謝を表現すれば心が暖かくなって来た周りを暖かくします。感謝は香ばしい油のようで濃い香りを発します。明るくて、暖かくて、香ばしい心状態を作るのが与えられた生を楽しみながら暮すのです。凡事に感謝すればこんな楽しさを感じながら暮すようになります。

第三、感謝は神様の能力が現われるようにします。

聖書に出る偉人たちの共通点はどんな状況に処しようが神様に感謝することを忘れなかったというのです。ダビデはサウル王が彼を殺そうと追跡するのでまように逃避する中でも神様に感謝する詩を作って讃嘆しました。ヨホサバツ王は莫強した軍勢を持った連合軍の侵攻を受けるようになった時禁食して感謝祈禱を申し上げて讃嘆しました。ダニエルは謀陥を受けて生命の脅威を受ける中でも神様に感謝祈禱を差し上げました。使徒パウロは打たれて深い監獄に閉じこめられたその夜に感謝する心で讃嘆を呼びました。詩編 50 編にこんなに記録されました。“感謝で祭祀を差し上げる者が私を榮えるように一つだからその行為を正しくする者に私が神様の救援を見せよう”(時 50:23)。ダビデ、ヨホサバツ、ダニエル、パウロは大きい危機と困難の中に神様に感謝したし神様の救援を体験するようになりました。今日も神様は凡事に感謝する人に多様な救援の恵みを体験するようにします。

第四、感謝は信仰を進めます。

神様が与えられた信仰を持った聖徒たちでもその信仰の状態が同じではないです。信仰はいろいろの苦難による試練を通じて強まって純粋になります。試練を受ける時信仰を失って落伍する人がいるかと言えば試練を通じて信仰が強まって純粋になる人がいます。試練の中に感謝するか不平を言うかがそんな差を持って来るようにします。しかし苦難の中に感謝する事が決して易しくありません。感謝することに決心するのが必要です。理解できなくても神様に感謝して、理由がどうでも神様に感謝すれば信仰に驚くべきな発展があるようになります。

五番目、感謝は試験を勝つようにしてくれます。

凡事に感謝する 聖徒には魔鬼の侵透するひまがなくなります。皆さんの家と職場と教会生活にどんな事件と問題によって割れ目が生じれば直ちに感謝にこれを封鎖してください。私たちは試験に入らないようにしてくれと言う祈禱を常にします。この祈禱をしながら私たちがすべきことも思わなければなりません。凡事に感謝しながら暮すことに念をおして実践しなければなりません。

六番目、感謝は神様に光栄をささげる事です。

イエスキリストがエルサレムにいらっしゃる時にらい病の患者 十人がイエス様を見て遠く立って助けてくれと言って叫びました。イエスキリストが彼らを見ておっしゃいました。“行って祭司たちにあなたたちの身を見せなさい。”彼らが行くうちに身がきれいになりました。彼ら中のサマリアひとりが自分が癒やされたことを見て大きい音で神様に光栄をささげながら戻ってイエスキリストの足下伏せて感謝しました。イエスキリストがおっしゃるのを“十人がすべてきれいさを受けなかつたのである？神様に 光栄をささげに戻った者がこの異邦人外には誰もいないか？”しました。(ヌクイ 17:11~18) コリント書 1 で 10:31 節に“あなたたちが食べようが飲もうが何をしようがすべて神様の光栄のためにしなさい”しました。“神様の光栄のために”という聖書句節はクリスチャンの生の理由と目標が縮約された表現です。神様に感謝する事は神様に光栄をささげる事に属します。

七番目、感謝は肉身の健康に有益です。

人は食生活の問題が解決されればその次に持つようになる関心事の中で一つが健康です。聖書には健康守則だと呼ぶことができるお話たちが多くの所にあります。その中で箴言で 4:23 節と 17:22 節は優に圧巻だと言うに値します。“凡そ守るに値するよりもっとあなたの心を守りなさい生命の根源がこれで生ずるだと”したし“心の楽しいことは良薬でも心霊の懸念を骨で乾くようになる”と言いました。このような事実を人々が分かっているが自分の心を治めやすくありません。ところで凡事に感謝すれば懸念心配から心を守って心の楽しさを得ることができます。デサルロニケ書 1 で 5:18 節に“凡事に感謝しなさいこれはイエスキリスト中であなたたちに向けた神様のみ旨だと”言いました。感謝すれば心が安定します。疾病に対する抵抗力と治癒力が向上します。

八番目、感謝は対人関係をなだらかにさせてくれます。

恨み不平を事とする人がいます。これは悪い趣味の中に一つです。人間関係でも神様を向けても感謝のない人は人間性が喪失されたことのように動物よりましなことがないです。自分にやや小さい助けでもあげる人に対して心よりありがたさを現わすこと知り合いにならなければなりません。こんな人は人をよく付き合うようになります。そしてそんな人にはもっと手伝ってほしい心情を持つのが人の常です。

九番目、感謝は眼力を持つようにしてくれます。

イスラエル民たちが広野で眼力を喪失して決定的な誤った判断をするようになった理由の中で一つは感謝が消えたからです。ガナアン地に入ることができる豪気に会ったのに返ってエジプトに帰ろうと叫びました。乳と蜂蜜が流れる地に入ることができる絶好の機会に会ったのに広野で死んだ方が良いと叫びました。彼らは当面した問題を神様とモセに向けた恨み不平をしました。そうするから眼力を喪失して福を受ける道より呪われる道を選んでしまいました。皆さんがどんな状況でも神様に感謝すれば聖霊がこころを開いてくださって眼力を持つようにしてください。

十番目、感謝は忍耐力を持つようにしてくれます。

くやしいとか悔しい事にあうようになれば自制力を失って行動しやすいです。こういう時“神様ありがとうございます。あらゆるの事がすべて分かる神様が啓示だからありがとうございます。仕返するのが神様にあるとなさったらありがとうございます。”と感謝すれば神様が自制力をください。苦しくて大変な事を耐えるとか遂行しなければならぬ場合にため息が出てかんのむしがおこるようになります。この時“神様ありがとうございます。神様の十字架を思って耐えることができるようにしてください。と感謝すれば神様が力をあたえられます。忍耐力をあたえられます。聖徒の皆さん、感謝する事に成功者になってください。そして多様で多くの有益を得て、成功者にもっと授けられる ふんだんになさる神様の恵みを体験するように願います。